

【教職員一覧表】

(平成27年5月1日現在)

	氏名		クラブ活動 委員会活動	教科・校 務分掌等	備考
1	松田 光二	校長			
2	上田 忠治	教頭		渉外 管理全般	
3	中島 潤治	わかば1	コンピュータ 放送	特別支援教育 情報 就学援助 視聴覚	特別支援 コーディネーター
4	岡本 愛子	わかば2	卓球 企画	学力向上 国語 キ ャリア教育	研究主任
5	中西 具子	1-1	家庭科 生活保健	生活科・総合 書写	生徒指導主任
6	神澤 佳江	2-1	球技 給食	道徳 算数 食育・ 健康 掲示	
7	植田 和久	3-1	バスケット 体育	社会 人権 福祉 体育 机・椅子	体育主任
8	安部 裕子	4-1	バドミントン 図書	図書 図工 計算 家庭科	
9	荻野 慎也	5-1	理科 企画	外国語 国際理解 特活 防災・安全	
10	藤井 栄次	6-1	理科 集会	教育計画 教育課程 理科 環境 校地経営	主幹教諭 教務主任
11	竹内 知子	音楽	バスケット 放送	音楽 教科書 転出入 給食人員報告 視聴覚	
12	石田 悦子	新学習 システム	家庭科 給食	給食等会計 清掃 給食 食育 家庭科	
13	河原徳次郎	主幹教諭 マネジメント		理科等 校地経営	
14	森本 幸代	養護	生活保健	出席統計 性教育 募金・拾得物・名札	保健主事
15	安田 陽子	事務		経理全般 公文書 厚生会・共済組合	
16	木村 真澄	計算科		ソロバン	
17	畑 有美	読書力向上	図書	図書館	
18	若松明央衣	教育支援員		教育支援	
19	麻植 順子	非常勤 指導補助員		学力向上クリエイト 放課後学習	
20	アラン・ミラー	A L T		外国語活動	
21	岩井 陽子	介助員		わかば学級1 生活介助	
22	佐藤 純子	介助員		わかば学級1 生活介助	
23	増田 康浩	校務		園芸 施設 校具	
24	小寺 辰雄	校務		園芸 施設 校具	
25	多田 敦子	調理		給食	
26	前田 昌兒	調理		給食	
27	齋藤 月繪	調理		給食	
28	深谷 孝子	調理		給食	
29	北川 次義	安全管理			
30	足立 孝	安全管理			
31	瀬山 允治	安全管理			
32	山本 弘	学校開放			
33	村上 圭司	学校開放			
34	稗島 信夫	学校開放			

【日課表】

健康観察・若葉タイム	8:30 ~ 8:45	
1 校時	8:45 ~ 9:30	
2 校時	9:35 ~ 10:20	
休憩	10:20 ~ 10:45	
3 校時	10:45 ~ 11:30	
4 校時	11:35 ~ 12:20	
給食	12:20 ~ 13:05	
一斉清掃	13:05 ~ 13:20	
休憩	13:20 ~ 13:40	
アップタイム	13:40 ~ 13:50	
5 校時	13:50 ~ 14:35	
6 校時	14:40 ~ 15:25	
学級活動	15:25 ~ 15:30	

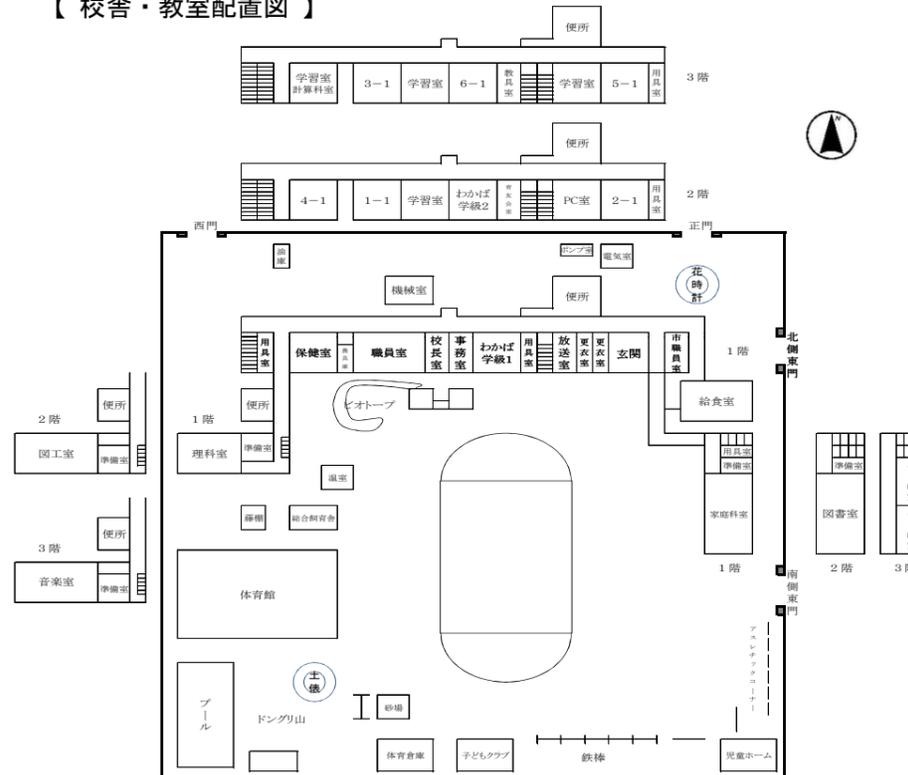
- ・毎週木曜日の若葉タイムは読書の日
- ・アップタイムは、ソロバン練習や計算等の反復練習
- ・全校朝会、児童集会は、月曜日の朝
- ・委員会活動、クラブ活動は月曜日の6校時
- ・各学年の週時間  
1年 …… 25時間  
2年 …… 26時間  
3年 …… 27時間  
4~6年 … 28時間
- ・下校時刻は16時30分

【児童数・学級数の推移】

	わかば	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	学級数
昭和31		218	251	202				671	13
昭和51		121	127	112	86	105	114	665	17
昭和61		41	44	44	53	46	50	278	12
平成18	2	28	36	37	39	39	43	224	9
平成19	1	35	29	36	37	39	40	217	7
平成20	4	21	34	29	36	37	38	199	7
平成21	3	20	18	34	28	34	36	173	7
平成22	3	24	21	18	32	28	34	160	7
平成23	1	18	25	23	18	33	29	147	7
平成24	3	26	18	25	22	17	35	146	8
平成25	2	17	24	18	24	23	18	126	7
平成26	3	22	17	25	19	24	21	131	8
平成27	3	20	24	17	24	18	24	130	8

(平成27年5月1日現在)

【校舎・教室配置図】



平成27年度

# 学校要覧

【校歌】

- 武庫の河原を かけまわり 作詞 岩田 甫水  
 プールにあげる 水しぶき 作曲 津田 貞臣  
 つよくきたえた 身と心  
 あなたも ぼくも 手をとって  
 はげむ勉強 たのしんで  
 伸びゆく若葉 若葉校
  - 六甲山に 浮かぶ雲  
 かきねにかおる きくの花  
 天然の美に あこがれて  
 あなたもぼくも ともどもに  
 美をつくりだす よろこびに  
 輝く若葉 若葉校
  - ちぬの海への 煙突は  
 五色の煙 ふきあげる  
 働くことの 尊さを  
 あなたもぼくも 知っている  
 次代をになう いきごみで  
 栄える若葉 若葉校
- (S40.3.16 制定)



## 尼崎市立若葉小学校

〒660-0083

兵庫県尼崎市道意町6丁目6番地の3

TEL (06) 6418-2888

FAX (06) 6418-2889

【HP <http://www.ama-net.ed.jp/school/e19/>】

【 校章 】



～ ゆらい ～

若葉小学校の名にふさわしく若い双葉と、校区に多い工場を示す歯車の一部を組み合わせ、伸びゆく学校を象徴したものである。

(S31.11.10 制定 梅田常子制作)

【 学校の沿革 】

- 昭和 31. 4. 1 尼崎市立若葉小学校創立 (成徳小学校より分離)
- 4. 7 成徳小学校にて授業開始 1年・2年・3年 計13学級
- 5.20 尼崎市立若葉小学校育友会結成
- 10. 8 第1期工事完成 (木造北校舎西8教室, 東便所, 校務員室)
- 11.29 開校式挙行 校章決定, 発表
- 32. 4. 7 1, 2, 3年生本校にて授業 4年生成徳小仮校舎にて授業
- 6. 1 木造南校舎西4教室と管理室, 体育倉庫 完成 4年生本校舎に移転
- 33. 7.30 仲よし石像設置
- 34. 8.14 大雨のため道意地区大半浸水, 地区住民180名本校に避難
- 35. 3.25 第1回卒業証書授与式挙行
- 37. 7.25 プール完成・プール開き
- 38. 3.16 体育館兼講堂 完成
- 39. 3.31 鉄筋西校舎, 特別教室〔理科, 図工, 音楽〕完成
- 11.11 尼崎市指定体育研究発表会
- 40. 3.16 校歌制定, 発表
- 41.11.15 創立10周年記念式典, 文化祭
- 46. 8.14 奄美大島名瀬小学校児童本校訪問
- 11.15 親子テレビ設置
- 51.10.30 本館西鉄筋3階3教室完成
- 11.27 創立20周年記念式典
- 53. 8.31 体育館フロア張り替え
- 55. 9. 1 カラーテレビ設置
- 56. 3.15 東校舎防音工事完了
- 57. 3. 1 新校舎完成 移転
- 59. 3.15 給食室, 市職員室完成
- 60.11.19 摂丹地区学校図書館教育研究会
- 61.10.17 花時計始動式
- 10.29 学習指導推進校・国語グループ研究発表会
- 11.21 創立30周年記念式典
- 62. 2.12 図書館教育研究発表会
- 3.21 創立30周年記念土俵開き
- 63. 2.25 尼崎市指定校内研究グループ発表会
- 4.20 「尼崎市花いっぱい花だんコンクール」最優秀賞受賞
- 63.10. 3 「第25回全国花いっぱいコンクール」地区最優秀賞受賞
- 「第6回ひょうご花と緑のコンクール」知事賞受賞
- 「第7回ひょうご花と緑のコンクール」兵庫県名誉花壇賞受賞
- 「第10回ひょうご花と緑のコンクール」兵庫県名誉花壇賞受賞
- 平成 2. 2. 8 兵庫県南部大震災を受ける 地区住民91名本校に避難
- 5. 2.26 震災復興工事完工
- 7. 1.17 「第14回ひょうご花と緑のコンクール」兵庫県名誉花壇賞受賞
- 8. 3.25 創立40周年記念誌発行
- 9. 3. 6 障害児学級(わかば学級)設置
- 13.11.13 尼崎市指定教育課程研究発表会
- 14. 3. 2 ビオトープ池「わかばトープ」完成
- 15. 3. 6 「第20回ひょうご花と緑のコンクール」兵庫県名誉花壇賞受賞
- 17. 9.30 音楽室冷暖房機設置工事完了
- 18. 8.25 図書室冷暖房機設置工事完了
- 10.28 創立50周年記念式典
- 19. 9. 1 図書室コンピュータ導入
- 21. 4.29 「2009 あまがさきフラワーガーデニングコンテスト」最優秀賞
- 9.30 1階男子トイレシャワー設置
- 22. 3.26 50インチ大型テレビを各教室に設置
- 26. 9.19 1階女子トイレシャワー設置



学校教育計画 【 学校教育目標・めざす児童像 】

わ

若い芽を伸ばす子  
たくましく(強い体)  
たくましい体 = たくましい体を育む子

か

考えを深め合う子  
かしこく(強い頭脳)  
確かな知性 = 自分で考え、解決する子

ば

場を美しく、心豊かな子  
やさしく(強い心)  
豊かな感性 = 心豊かで思いやりのある子

【 めざす学校像 】

- ・ わくわく心がはずむ楽しい学校
- ・ 学習の基礎・基本をしっかり学習できる学校
- ・ 地域の人々に親しまれる学校



【 めざす教師像 】

- ・ 愛情をもって、全ての子どもの可能性を開く教師
- ・ 研修と研鑽に努め、人格と教育技能を磨く教師
- ・ 家庭と地域に信頼される教師

【 重点取組項目 】

1 学力の向上

- ① 学習意欲を高めると共に、各教科の基礎・基本の確実な定着を図り、確かな学力を身につけさせる。
- ② 自主的に問題を発見し、追究する学習を創造する。
- ③ 思考力を伸ばし、創造性を開発し、さらに生涯学び続ける態度を養う。

- ・ 学力向上担当を中心に、児童の学力や生活の現状と課題を把握し、対策を検討・実施する。
- ・ 朝の学習タイムを充実させ、音読・漢字・言語技術習得のための基礎基本の定着を図るとともに、読書力向上担当と連携し、毎木曜日の朝読書等、読書活動を推進する。
- ・ 全教育活動を通して言語活動の充実を図り、表現力、コミュニケーション能力の向上をめざす。
- ・ ひとりひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育を学校全体で推進する。
- ・ 教員は「教えて考えさせる指導」に重点をおき、教材教具や授業の組み立てを工夫し、「わかる授業」「力のつく授業」の展開に努める。また、全員が公開授業を行い、指導力向上を図る。
- ・ 保護者に理解を求めて、積極的に家庭学習の習慣化を推進する。
- ・ 児童の育ちや学びを滑らかにつなぐため、中学校との情報共有、連携に努める。

2 豊かな人間性の向上

- ① 児童の心の安定を図ると共に、規範意識を育み、良好な人間関係づくりに取り組む。
- ② 困難にも決してあきらめることのない強い心をつくる。

- ・ 道徳教育と特別活動を充実し、自尊感情の高揚を図り、自己有用感や所属感を味わう機会を積極的に設ける。
- ・ 豊かな体験や交流を通して、感動する心や感謝する心を育てる。
- ・ 日常生活の中で、互いを尊重し合う人間関係づくりに努め、規範意識を醸成する。(あいさつ・掃除・学校のきまりや社会的ルールを守ることなどの指導)

- ・ 全教職員が児童の内面理解、いじめの防止に努め、児童や保護者の相談しやすい環境づくりに努める。
- ・ 生徒指導上の問題等は早期に発見し、関係機関と連携して早期対応に努める。
- ・ 小中学校の連携を図り、実態に応じた指導を充実する。(3校連絡会議等)
- ・ 携帯電話やスマートフォン、パソコンなど、情報モラルや情報安全等に対する計画的指導を充実させる。

3 健康の増進と体力の向上

- ① 心身共に健やかな児童の育成を図るため、児童の体力づくりに励む。
- ② 健康教育、安全教育、防災教育の推進に努めると共にその定着を図る。

- ・ 身体を動かす楽しさや喜びを体感させる。特に、外遊びの楽しさを感じさせ、休憩時間を外で遊ぶようにさせる。(25分・20分の休憩時間設定)
- ・ 体育やスポーツ活動の充実を図る。(長縄跳び、ジョギング、マラソン大会など)
- ・ 食育の指導計画を元に「食」の正しい知識・情報を理解させ、家庭と積極的に連携した「早寝・早起き・朝ごはん」運動を通して、望ましい生活習慣の確立を図る。

4 保護者や地域に信頼され、活力に満ちた学校

- ① 地域の信頼を得るために、積極的に教育活動の公開や情報発信に努める。
- ② ひとりひとりの教職員が高い倫理観に基づき、使命と責任を自覚し、絶えず自己研鑽に努める。
- ③ 保護者や地域の支援・協力を積極的に教育活動に生かす。

- ・ 年間5回のオープンスクールの実施、ホームページの充実により学校の教育活動を公開する。
- ・ 保護者や児童のアンケートを生かした学校評価及び学校関係者評価の実施と公開を行い、教育活動に生かす。
- ・ 地域の行事に積極的に参加するとともに、地域人材の積極的な活用を図る。(もちつき大会、地域ボランティア、登下校時の見回り隊など)

【 校 内 研 究 】

1 研究テーマ

「自分の思いや考えを言葉にし、相手に伝わるように表現する子どもの育成をめざして」  
サブテーマ ～伝え合う力(聞く・話す・話し合う)を育てる授業づくり～

2 めざす児童像

- ・ 自分の思いや考えを持ち、適切な言葉で表現できる子
- ・ 相手の思いや考えを理解することができる子
- ・ 自分とは異なる思いや考えを受け入れ、自分の思いや考えを広げたり深めたりできる子
- ・ 広げたり深めたりした自分の思いや考えを、伝えることができる子
- ・ 表現することの楽しさを知り、進んで伝え合おうとする子

3 研究教科 国語科及び全教科・全領域

4 研究方法

- ・ 低・高学年・専科ブロックで全体授業を各1回実施する。
- ・ 全体研究授業には、講師を招聘し、全体研究会を行う。

5 研究組織

